

4年	課題分析	授業改善策	新学習指導要領に向けて	評価(◎○△)
国語	<p>○書くことに苦手意識をもつ児童が多く、読むことや書くことの指導に時間がかかる。 ○漢字の定着に個人差が見られる。 ○自分の考えの理由をに時間がかかることがある。</p>	<p>○読解のスキルを分かりやすく身に付けられるように、スモールステップの学習を取り入れる。また、単元ごとに身に付けたい力を絞って単元計画を考え、年間を見通して積み上げる。 ○言語活動「それぞれの立場から考えを伝えるなどして話し合う活動」を多く取り入れ、意欲につなげ、思考力、判断力、表現力を育ていく。 ○様々な形式の書く活動を意図的に取り入れ、基礎的なスキルの向上とともに、伝える楽しさを実感させていく。書き慣れることと、語彙を増やすことを目的として、日常的に日記や短作文に取り組むようにする。 ○授業の中では、新出漢字の習得時に言葉広げなどをして、語彙力とともにスキルを高めていく。また、個人の能力に合った漢字練習法を提案し、自分に合った方法を身に付けさせる。</p>	<p>【言葉による見方・考え方】 言葉の意味・関係、使い方などに着目しながら、スモールステップで文章を書いたり、メモしたりするなど自分の思いや考えを言葉で表現する活動を多く取り入れる。 【対話的な学びの視点からの言語活動の充実のための工夫】 ペアやグループ学習を取り入れ、相手に伝わるよう話したり最後まで聞いたりする経験を積み、言語活動の充実を図る。</p>	R2夏完了
算数	<p>○問題文から演算決定をするための情報を読み取る力が弱い。 ○様々な大きさに対する量感が不足しており、単位の換算(m→cm、kg→gなど)が未定着な児童がいる。 ○身の回りの事象を簡潔に表現するために、グラフを活用できる児童が少ない。 ○ベーシックドリル診断シートの結果、「式の表し方」「箱の形」の定着に課題があることが分かった。</p>	<p>○他教科での学習に概数の考えを用いたり、生活の中で概数を用いる場面を想起させたりして活用する力を養えるようにする。 ○問題文をよく読んで、図に整理する学習を繰り返し、元にする量を捉えることができるようにする。 ○小数の四則計算の反復練習を学習の初めに行い、基礎的なスキルの向上を目指す。 ○ベーシックドリルを活用し、課題のある領域の定着を図っていく。</p>	<p>【学びに向かう力・人間性等】 数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養うようにする。</p>	R2夏完了
理科	<p>○観察や実験に興味・関心のある児童が多い。 ○実験結果から考察を導き出して、自分の考えをまとめてあわわすことが難しい児童が多い。</p>	<p>○学習の流れを確認し、視点をもって観察や実験を行うようにする。 ○考察のまとめ方を指導し、授業時間内にまとめられるようにする。</p>	<p>【学びに向かう力・人間性等】 自然に親しみ、理科の見方・考え方を働かせ、見直しをもって観察や実験を行い、その結果を基に考察し、結論を導き出すなどの問題解決の活動を充実させる。</p>	
社会	<p>○体験的な活動を行った際には、自分の考えをもつことができる児童が多い。 ○資料をもとに自分の考えを書いたり、考えを話し合ったりすることを苦手としている児童が多い。 ○社会的事象に対して関心が高く、よりよく社会にしようとする主体性は感じられる。</p>	<p>○身の回りの生活についてなど、自己に関わる内容であることを理解できるように、単元の導入を工夫する。 ○図や資料を読み取る際は、読み取る視点を明確にしてから、考えさせるようにする。 ○社会的事象に対して、自分事として考え、具体的な行動についても話し合えるようにする。</p>	<p>【思考力、判断力、表現力等】 「考えたこと」に加え、「選択・判断したこと」を文章で記述したり資料などを用いて説明したり、話し合ったりする力を養う。</p>	R2夏完了
音楽	<p>○技能の定着に個人差が大きい。リコーダーに関しては、運指を覚えていない、タンギングや息の使い方がうまくできない児童がいる。 ○曲想や楽曲の特徴を感じ取り、どのように表現したいか、思いをもつことができる児童とそうでない児童の差がある。 ○思いや意図をもてるが、それを実現させる技能が不十分である。</p>	<p>○器楽指導では、スモールステップで取り組むことや担任と連携して、休み時間など利用し補充学習を行う。 ○学習形態を工夫し、楽曲の良さや特徴を一人一人が考えたり共有したりできるようにする。 ○子供の思いを大切し、思いが音楽に表せる技術を習得できるよう学習のなかで、意図的・計画的に進めていく。</p>	<p>音楽表現をしたり音楽を聴いたりする過程において、「音楽的な見方・考え方」を働かせて、互いに気づいたことを交流したり、共感しあったりすること。【対話的な学び】</p>	R2夏完了
図画工作	<p>○「感性や想像力を働かせ」て、「表現したり鑑賞したりする」資質・能力を、スパイラルに育成する必要がある。 ○思考力・判断力・表現力等を高め、「主体的・対話的で深い学び」を実現するために、学習の場が言語活動か、非言語活動を意識して取り組む必要がある。 ○生活を豊かに美しくする造形や美術の働き、美術文化についての理解を進める学習を充実させる必要がある。</p>	<p>○意欲を高め、技能のポイントを学びやすくするため、学習の場を工夫する。一人一人の目標や課題意識をもって、練習に取り組めるように様々な活動ができるようにする。 ○授業の前半に、不足する力を補い、基本の動きを高める運動を取り入れる。 ○良い動きのチームや児童の様子を観察させる。互いに教え合ったり、工夫したりする場を設ける。 ○スモールステップで取り組ませることを心掛け、運動遊びの楽しさに触れる機会を作る。</p>	<p>○図画工作科においては心と体を使って(触れたり、)感じたりする体験や、人との関わりを通して良さや価値を実感する活動を重視している。「主体的、対話的で深い学び」の視点に立ち、活動と学びの関係性や、活動を通して何が身についたのかという視点から、学習・指導の改善・充実を進める。</p>	R2夏完了
体育	<p>○運動領域によって得手・不得手が異なる児童が多い。 ○主体的に自分の課題に対して取り組む児童が多い。 ○課題が解決できないとき、他の児童に自分から学ぼうとしたり、意見を聞いたりする児童は少ない。</p>	<p>○グループ学習などを取り入れた際は、同じグループの児童の課題をそれぞれが把握して、練習に取り組むようにする。 ○動きに見直しをもたせるために、ICT機器等を使用して、動作を視覚化する。 ○自分の課題に合った活動ができるように、運動の強度を段階的に行うようにする。</p>	<p>【知識及び技能】 その特性に応じた各種の運動の行い方及び身近な生活における健康・安全について理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 運動やスポーツが楽しさや喜びを味わうことや体力の向上につながっていることに着目させ、楽しく明るい生活を営む態度を養う。</p>	R2夏完了